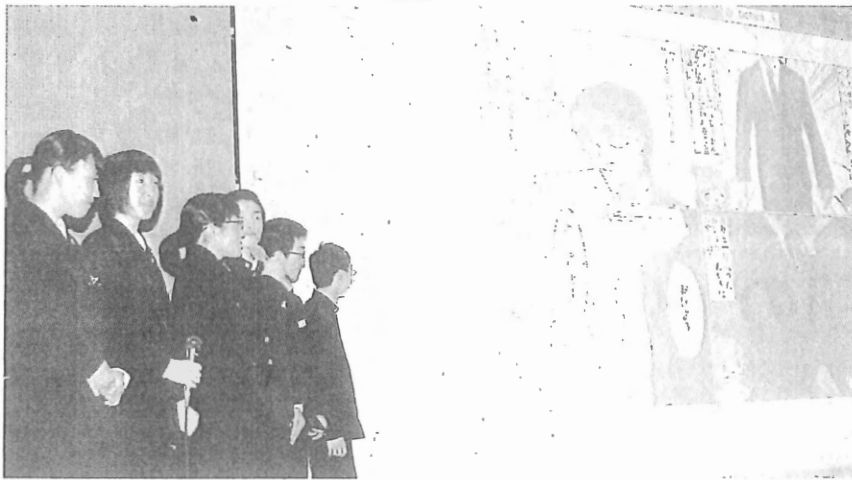


高校生 ネット広告に挑戦



学校の文化活動発表会で、ジャケットのバナー広告を紹介する生徒ら

ネクタイやスーツ 筋書き、モデルも

利根商業高校(みなかみ町)が、「オーダースーツ 注文紳士服アベ」(前橋市)と連携し、電子商取引でネクタイやスーツなどを販売している。同社のホームページ(HP)には10月から、「高校生はどう売るか?」と題し、生徒らが制作したバナー広告が掲載されている。

通販サイト運営大手「楽天」(東京)が、高校で電子商取引の授業を行う「楽天IT学校」の一環。利根商業高校では情報経済科の3年生が今年度、楽天IT学校に参加した。紳士服アベの阿部慎之介社長(38)の協力を受け、魅力的なネット広告の作り方などを学んでいる。

生徒たちが6チームに分かれて、それぞれ手がけた

広告は10月から同社のHPに掲載。高校生の視点で作られたスーツやネクタイなどを、写真やイラスト、セリフなどを交えてユニークに紹介する内容だ。ネクタイを持っていない若者がネット広告を見て購入し、自信を持ってパーティーに参加するという筋書きの広告などでは、生徒がモデルも務めている。

星野七海さん(18)は「お客さまが商品を手にする姿を想像して作った。広告はもちろん、画像を加工するのも初めてだったが、楽しかった」と話す。入沢菜夢さん(18)は「多くの人に見てほしい」と語った。

阿部社長は「お客さまの目線で物の良さを伝えることを学んで、社会に出ても生かしてほしい」と話している。